

授業科目名		担当講師名		対象学年	
解剖生理学Ⅳ・感覚器		郡山 昌敬 大野 郁夫 野元 裕輔		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	(10)	教室	後 期		
実務経験	本科目は、医師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	目、鼻、耳、皮膚、外部の情報の受容器				
到達目標	正常な人体の形態、機能を関連づけて系統的に理解し、生命への畏敬の念を育む。 外部情報の入り口としての、感覚器の構造と働きを理解する。				
事前学習	教科書を読んでおく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	第8章 情報の受容と処理 G 眼の構造と視覚・主な疾患について ・眼球の構造
2	・視覚の伝導路と認識・眼球運動・眼球に関する反射 ・先天色覚異常と色覚バリエーション
3	H 耳の構造と聴覚・平衡覚 ・聴覚 外耳・中耳・内耳
4	I 味覚と嗅覚 ・味覚受容器の構造と味覚・嗅覚受容器の構造と嗅覚 ・疼痛の発生機序
5	第9章 外部環境からの防御 皮膚の構造と機能・生体の防御機構
6	皮膚の構造と機能・グループワーク
7	終講試験
履修上の要件	特になし 感覚器の疾患については疾病と治療Ⅲで履修する。
テキスト、教材、参考書	医学書院 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学
成績評価の方法	筆記試験 腎泌尿器・男性生殖器・女性生殖器とあわせて解剖生理学Ⅳの単位とする。
備考	